

## 【 ご使用方法 】

- ①作成したデータを「Customer\_data」レイヤーに貼付け  
※「template」レイヤーの変更・消去は絶対にしないでください  
※データは原寸サイズで作成してください
- ②【チェックシート】を確認し、別名保存（形式：Ai）  
※別名保存の際、必ず「PDF互換ファイルを作成」と「ICCプロファイルを埋め込む」のチェックを外して保存をお願いします
- ③Aiデータ、画像データ、確認用データ（Aiデータのキャプチャ画像）を1つのフォルダに入れて圧縮→メールにて送付

## 【 チェックシート 】

- ☐ カラーモードはCMYKですか？  
メニューバーの「ファイル」→「ドキュメントのカラーモード」→「CMYKカラー」
- ☐ 塗足し線まで作成されていますか？  
背景の写真や絵柄などは、必ず塗足し線までレイアウトしてください。  
仕上り線ギリギリまたは少し内側にレイアウトされますと、断裁時の誤差などで生地周囲に白地が発生する場合がございます。
- ☐ 画像の解像度は150dpi以上ですか？  
画像は実寸で解像度150dpi以上を推奨しております。解像度が低いと粗く出力されます。  
画像は埋め込まないでリンク配置し、リンク画像は必ずこのAiデータと一緒に送ってください。
- ☐ 画像の画質は大丈夫ですか？  
画面左下のズームレベルを、1/10サイズは「1000%」、原寸サイズは「100%」にしますと、  
実寸に近いサイズで画質確認が可能です。問題がないかご確認ください。
- ☐ 複雑なパス、パターンスウォッチ、ぼかし、ドロップシャドウは画像化されていますか？  
まず以下①でドキュメントの解像度を上げていただき、②で画像化してください。  
（※一度画像化されると元に戻せませんので、元のAiデータをコピーし作業することを推奨いたします）  
①メニューバー「効果」→「ドキュメントのラスタライズ効果設定」→「解像度 その他」から1200ppiで設定  
→「背景」は透明を選択→「オプション」のチェックをすべて外す→OK  
②複雑なイラスト・図、パターンスウォッチは  
該当のオブジェクトを選択→メニューバー「オブジェクト」→「ラスタライズ」  
→「解像度 その他」から1200ppiで設定→「背景」は透明を選択  
→「オプション」のアンチエイリアスはアートに最適を選択、チェックをすべて外す→OK  
ぼかし、ドロップシャドウは  
該当のオブジェクトを選択→メニューバー「オブジェクト」→「アピアランスを分割」
- ☐ オーバープリントになっていませんか？  
オーバープリントになっている文字やイラストは印刷時、非表示になり出力されませんのでご注意ください。
- ☐ フォントはアウトライン化していますか？  
メニューバー「オブジェクト」→「すべてをロック解除」→すべての文字を選択し、  
メニューバー「書式」から「アウトラインを作成」
- ☐ 対応アプリケーション：2020(v24.3)以下で作成していますか？  
Illustrator2020(v24.3)以上の最新バージョンにて作成されている方は、  
バージョンを2020(v24.3)またはそれ以下に下げて保存してください。
- ☐ 確認用データはありますか？  
リンク画像や効果が正しく反映されているか確認いたしますので  
キャプチャ画像を必ず一緒にご入稿ください。

- ☐ 水色線…仕上り寸  
☐ 黒線 …塗足し線  
☐ 点線 …安全線（※文字の配置は点線まで）

サイズ：W2000×H2000mm

仕立て：上下棒袋80mm

